



第 **123** 期

株主通信

2023年4月1日 ~ 2024年3月31日

箱根遊船 SORAKAZE



富士急行株式会社

証券コード：9010

絶景・富士山麓の春の風物詩

「富士芝桜まつり」



■ 「飛び出す絵本の世界」

■ 制作：東京藝術大学美術学部デザイン科箭内研究室 小澤・高永

CONTENTS

■ ごあいさつ	1
■ FUJI-Q TOPICS (Year In Review)	2
■ FUJI-Q News	4
■ 事業別概況	8
■ 連結財務諸表	10
■ 会社概況／株式情報	11
■ 株主優待のご案内	12



株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第123期におけるわが国経済は、海外紛争や円安の進行、自然災害等による原材料価格高騰や物価上昇など様々な影響を受けたものの、国内外観光客の増加による消費の拡大や、社会経済活動の回復による雇用・所得環境の改善が見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、運輸、不動産、レジャー・サービス、その他の各事業において、積極的な営業活動を行うとともに、計画的な設備投資を行うなど経営の効率化に努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における営業収益は507億1百万円、営業利益は81億51百万円、経常利益は79億36百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は45億71百万円となりました。

当期における各事業の具体的な取り組みは、8ページ以降に記載しておりますので、ご高覧くださいますようお願い申し上げます。

当社グループを取り巻く経営環境は、物価上昇や金利上昇による影響、海外の政治・経済情勢の動向など今後も不透明な状況が続くものと考えられます。このような状況のなか、第六次中期経営計画の2年目にあたる2024年度においては、これまで培ってきたノウハウや経験に加え、AI技術など最先端デジタルテクノロジーを活用し、大きく変化する社会構造や多様化する価値観に対応した多彩なコンテンツを提供することで、社会的価値と経済的価値の両立に取り組んでまいります。

運輸事業につきましては、鉄道事業において、増加する観光需要に対応するため、需要に合わせた臨時列車を運行するなど輸送力強化に取り組んでまいります。また、多言語に対応した周遊チケットのモバイル化などの利便性向上に取り組むとともに、沿線の混雑緩和策など地域社会との連携による魅力向上に努めてまいります。バス事業では、電気バス（EVバス）の更なる導入により環境負荷低減を図るとともに、自動運転EVバスの公道実証実験（社会実装推進事業）を継続してまいります。

不動産事業につきましては、山中湖畔別荘地において、多様化する顧客ニーズに応える各種施策を実施するとともに、「Nature&Smart Resort」をコンセプトに、「富士山眺望エリア」「趣味充実エリア」等のエリアブランディングを推進し、別荘地の価値向上と販売強化に努めてまいります。

レジャー・サービス事業につきましては、「富士急ハイランド」において、遊園地開業60周年を記念した各種イベントの開催やトーマスランド内施設の一部リニューアルなど話題の醸成を図ってまいります。また、SNSを活用した外国人観光客へのプロモーション活動を強化するとともに、園内中央広場「セントラルパーク」において、引き続き様々なイベントの開催や、地域と連携した催事、商品販売の場を提供するなど新たな需要の創出に努めてまいります。

サステナビリティへの取り組みにつきましては、当社グループにおける重要課題（マテリアリティ）に対し、定量目標や指標を設定し、ネットポジティブに向けた具体的施策に取り組んでまいります。人材への投資につきましては、従業員エンゲージメント向上のための様々な人事施策に加え、教育プログラムをさらに充実することで、多様なキャリアパスを実現してまいります。

当社グループは、「富士を世界に拓く」という創業精神のもと、オリジナリティの高い「喜び・感動」を創造し、「夢・喜び・やすらぎ・快適・感動・健やかさ」を提供することにより、世界の人々の心の豊かさにご貢献することを目指してまいります。また、創立100周年（2026年9月）に向け、新たな当社グループのブランドの確立と浸透に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月
代表取締役社長 堀内 光一郎

Year In Review

FUJI-QTOPICS

富士山麓電気鉄道

6月 「富士山世界文化遺産
登録10周年おめでとう
キャンペーン」開催



富士急ハイランド

7月 「ZOKKON」
オープン



富士急ハイランド

「絶望要塞-IMPOSSIBLE GAMES」
オープン



4月

5月

6月

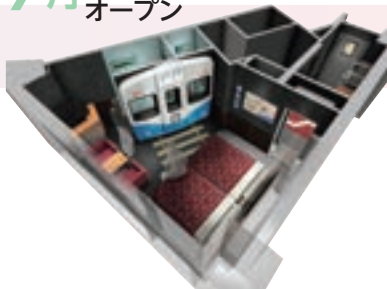
7月

8月

9月

ハイランドリゾート
ホテル&スパ

7月 「富士急行線ルーム」
オープン



ホテルmount富士

「開業60周年
アニバーサリーキャンペーン」



当期のトピックス紹介

10月 自動運転EVバスの
公道実証実験開始



スノーパーク イエティ

25年連続で
日本一早くオープン



10月

11月

12月

1月

2月

3月

11月 さがみ湖リゾート
プレジャーフォレスト
「さがみ湖イルミリオン」開幕



2月 箱根遊船「SORAKAZE」
運航開始



ハイランドリゾートホテル&スパ

AI技術を活用した
“無人決済スマートストア”オープン



1

Fuji-Q
News

新船「箱根遊船 SORAKAZE（そらかぜ）」 2/23(金・祝)「富士山の日」より運航開始



箱根遊船WEBサイト

箱根芦ノ湖にて、「富士山の日」にあたる2024年2月23日（金・祝）に、新船「箱根遊船 SORAKAZE（そらかぜ）」の運航を開始しました。

「箱根遊船 SORAKAZE」は、四季折々の表情を見せる芦ノ湖の景色を楽しむ、「箱根を遊ぶ船」として登場し、「箱根・芦ノ湖に浮かぶ緑の公園」をコンセプトとしています。

天然芝を敷き詰めた屋外デッキや、船尾に天然の蔭（ツタ）を這わせるなどの「緑化デザイン」は、まさに「湖の浮かぶ緑の公園」。船体外側の水引風デザインは、船上から望む「箱根関所」や「箱根神社の平和の鳥居」という、富士山と芦ノ湖の自然と風景に調和した和の装いです。



「箱根遊船 SORAKAZE」概要

運航ルート	箱根関所跡港～元箱根港～箱根園港～箱根関所跡港（約11.4km） ※各港で乗船・下船ができます。※現在湖尻港は営業を休止しています。
運航時間	9：20～16：30 ※1日11便。季節、気象条件により運航状況が変更になる場合があります。
乗船料	周遊航路（往復） 大人（中学生以上）1,800円／小人（小学生）900円 ※片道料金や区間料金もあります。詳しくはWEBサイトをご確認ください。
所要時間	周遊航路約40分
船体情報	全長27.5メートル／全幅11.6メートル／総トン数約265トン 速力11ノット（時速約20km）／定員550名



～持続可能なまちづくり・地域公共交通の実現を目指して～

【山梨県内初】 富士山麓 富士吉田市で

自動運転EVバスの公道実証実験を実施

山梨県富士吉田市、富士急バス株式会社、BOLDLY株式会社と共同で持続可能な地域公共交通の実現を目指して、2023年10月21日（土）から11月10日（金）までの期間、山梨県富士吉田市内の公道「富士みち」において、県内初となる自動運転EVバスの実証運行を実施しました。

本実証は、国土交通省の「地域公共交通確保維持改善事業補助金（自動運転実証調査事業）」の採択を受け、少子高齢化や運転士不足、訪日外国人観光客の急増など、地域公共交通に関わるさまざまな課題解決を図ることを目的に、自動運転レベル4を見据えた取り組みとして実施し、遠隔監視員および乗務員（オペレーター）を配置して自動運転レベル2で自動運転EVバスを運行しました。これにより、自動運転EVバスの運行に係る経営面や技術面、社会受容性を検証し、2025年度のレベル4自動運転移動サービスの社会実装を目指してまいります。

●実証ルート「富士みち」周辺は観光施設や商店街などが集積する市の中心エリア

本実証は、「富士急行線下吉田駅（新倉山浅間公園）」から、世界文化遺産「富士山」の構成資産の1つである「旧外川家住宅」までの約2.1kmの区間で行われました。このルートは「富士山」に向かってのびる「富士みち」と呼ばれ、周辺エリアは、地域住民の生活インフラの集積拠点であるとともに、訪日外国人観光客の観光・消費面においても重要なエリアであり、自動運転EVバスの運行は、訪日観光の二次交通手段として、地域の回遊性向上や地域経済への波及にも貢献しました。



3

Fuji-Q
News

“木のぬくもり”を感じる西桂町の新たな地域のコミュニティ施設へ

西桂町と連携した「三つ峠駅」リニューアル

富士山麓電気鉄道株式会社では、山梨県西桂町と連携し、町のコミュニティ施設として富士急線「三つ峠駅」を町内外からのお客様の観光交流拠点に位置付け、西桂町や三つ峠山の玄関口としてリニューアルいたしました。新たな駅舎のデザインは、西桂町が東京造形大学の学生へデザインコンペを開催し、決定されたデザインとなります。「記憶を受け継ぎながら地域の色を帯びた駅」をコンセプトに、三つ峠駅開業当時の駅舎を現存させ、西桂の織物と駅のカラーである“赤”を空間テーマとして展開し、山梨県産木材を採用した木のぬくもりを感じさせる駅舎に生まれ変わりました。



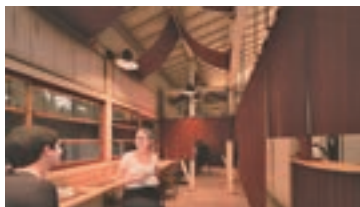
【「三つ峠駅」リニューアル概要】

所在地	山梨県南都留郡西桂町小沼1583
デザイン担当	東京造形大学学生
コンセプト	記憶を受け継ぎ郡内の色を帯びる駅
工事内容	駅舎建替改修、待合室部分改装、改札口改修
完成	2024年5月

■デザイン詳細

《コミュニティ施設》

鉄道の待合室をイメージしたカフェスペースで、部屋の中央にはキッチンカウンターをフロア全体が見渡せるように配置。地域の特産品である織物を使った暖簾でワークスペースや物販スペース、集会スペースをそれぞれ仕切り、異なる空間を演出。



コミュニティ施設



コミュニティ施設

《待合室》

リニューアル前の待合室を保持しつつも、北側と南側を隔てる壁を取り払い、観光情報冊子やパンフレット、特産品等の展示スペースを設置。



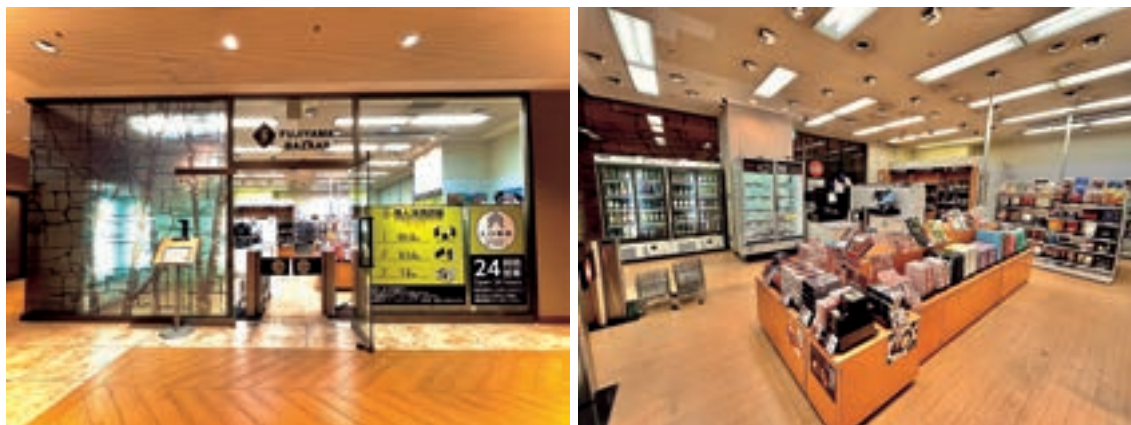
コミュニティ施設



待合室

※画像はイメージ

リゾートホテル内のスーベニアショップで日本初導入! AI技術を活用した“無人決済スマートストア”がオープン!



世界遺産・富士山の麓に位置する「ハイランドリゾートホテル&スパ」内のスーベニアショップ（お土産物店）「FUJIYAMA BAZAAR（フジヤマバザール）ハイランドリゾート店」を“無人決済スマートストア”として2024年2月3日（土）にリニューアルオープンしました。独自の自動商品認識システムを搭載した無人決済システム「TTG SENSE」を導入しており、リゾートホテル内のスーベニアショップに導入される無人決済システムの店舗としては日本初の事例です。

このリニューアルは、近年社会問題となっている観光業における人手不足問題の解決や、ホテルの利便性およびCS向上を目指した取り組みです。TTGの無人決済システムは、店内に複数設置したAI搭載カメラやセンサーを使い、お客様の動きと手に取った商品をリアルタイムに認識します。お客様が決済エリアに立つと購入商品や会計金額がレジ画面に自動で表示されます。商品バーコードをスキャンする手間がなく、スピーディーに会計を済ませることが可能です。また、会員登録や専用アプリが不要で、レジの画面表示は多言語（日英中韓）に対応しているため、幅広いお客様に気軽にスマートなショッピングを体験していただけます。一方で、売店運営にとって必要不可欠なレジ業務を自動化することで、スタッフの業務を効率化します。

さらに、同システムを活用することで、人材確保の観点からこれまで困難であった店舗の24時間営業も実現します。営業時間拡大に合わせた訪日外国人向けのナイトタイムエコノミー施策として、ホテルメイドの料理がいつでも召し上がれるよう、オリジナル冷凍商品の取扱いを開始し、インバウンド宿泊客の館内飲食需要にも対応いたします。



ハイランドリゾートホテル&スパ
WEBサイト

事業別概況（連結）

運輸事業

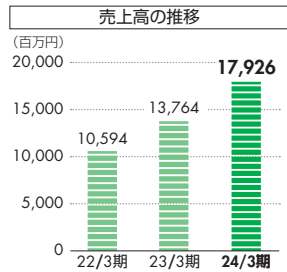
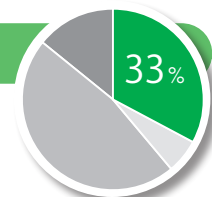
鉄道事業につきましては、外国人をはじめとする観光需要が高まり、一年を通して多くのお客様にご利用いただきました。また、富士山の世界文化遺産登録10周年を記念したキャンペーンをJR東日本と共同開催し、富士山の魅力を改めて情報発信するなど様々なイベントを開催し、集客に努めました。さらに、JR中央線直通特急「富士回遊」を7月から1往復増発し、増加する外国人観光客の利便性向上と輸送力強化に努めました。

バス事業につきましては、国内外観光客の増加を受け、高速バス営業では富士五湖発着路線において、運行本数の見直しなどにより輸送力を拡大するとともに、乗合バス営業では、河口湖駅を起点として周辺の人気スポットを巡る「河口湖・西湖周遊バス」を増発運行し、多くの外国人観光客にご利用いただきました。SDGsの取り組みとして、電気バス（EVバス）を11台導入するとともに、少子高齢化や運転士不足など地域公共交通が抱える課題解決を目的に、富士吉田市と共同で山梨県内初となる「自動運転EVバス」の公道実証実験を行いました。また、乗務員の待遇改善や物価高騰、機材更新など運行経費の増加に対応するため、運賃改定を行いました。2024年2月には、富士急モビリティ株式会社を存続会社として、富士急湘南バス株式会社を吸収合併し、運転士、車両の柔軟な運用や事務業務の効率化による更なる経営の合理化を図りました。

船舶事業につきましては、2023年2月に譲り受けた箱根芦ノ湖遊覧船事業において、「湖に浮かぶ緑の公園」をテーマに既存船を「箱根遊船 SORAKAZE」としてリニューアルし、新たな需要の創出に努め、好評を博しました。

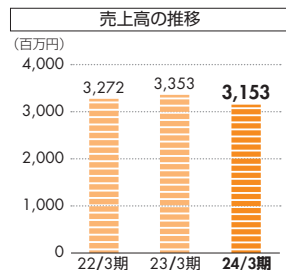
安全対策につきましては、「運輸安全マネジメント」の安全目標、重点施策に基づき、安全会議や集合研修の充実を図り、安全意識の更なる向上に努めました。また、鉄道・バス・船舶において、地域の警察署や消防署などと連携し、自然災害や緊急時を想定した合同訓練を行いました。

以上の結果、運輸事業の営業収益は17,926,738千円（対前期130.2%）、営業利益は3,762,753千円（対前期382.5%）となりました。



富士回遊

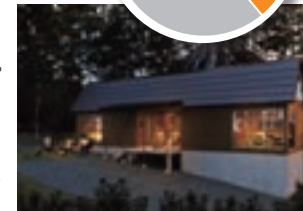
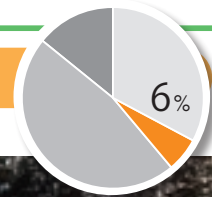
不動産事業



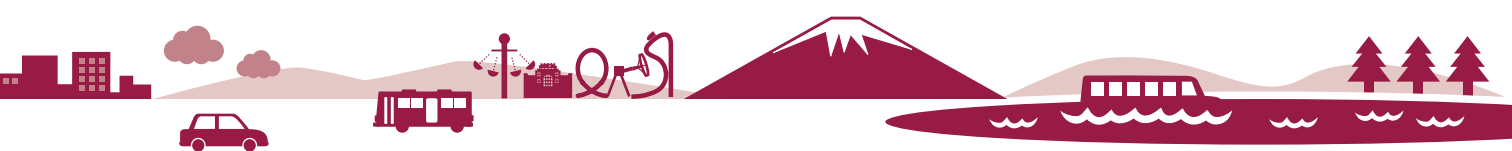
不動産販売事業につきましては、山中湖畔別荘地において、「FUJIYAMA hill's 山中湖」の展開を進めるとともに、新築オーダーメイドプラン「MOON HILLS」を新規提供するなど、マイカーやゴルフ、サウナなど様々な趣味や多様化するお客様のニーズに合わせたモデルプランを提案し、販売促進に努めました。

不動産賃貸事業につきましては、静岡県沼津市においてドラッグストアへ賃貸を開始したほか、既存賃貸施設の改修工事を行い、安定的な収益の確保に努めました。

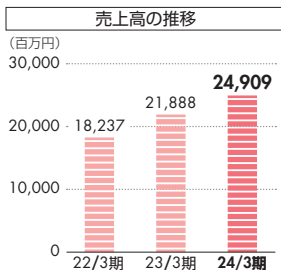
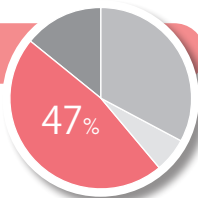
以上の結果、不動産事業の営業収益は3,153,888千円（対前期94.0%）、営業利益は755,236千円（対前期81.8%）となりました。



MOON HILLS



レジャー・サービス事業



遊園地事業につきましては、「富士急ハイランド」において、12年ぶりの新大型コースター「ZOKKON」をオープンし、これまでのスピードやスリルのみならず、人気アーティスト「SEKAI NO OWARI」とコラボレーションした音楽や映像による演出効果もあり、多くの利用者から好評を博しました。また、超難関攻略型アトラクション「絶望要塞」をリニューアルオープンし、更なる魅力向上を図りました。さらに、隣接するコニファーフォレストでの野外音楽イベント「サウンドコニファー229」の開催に合わせ、各公演とのコラボレーション企画を充実し、グッズや飲食等の販売が好調に推移しました。「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」では、人気アニメ「パウ・パトロール™」との日本初となるコラボレーションイベントを開催するとともに、「さがみ湖イルミリオン」では、国民的アニメ「ドラえもん」とタイアップしたスペシャルイルミネーションを開催し、ファミリー層を中心に多くのお客様にご利用いただきました。スノーパーク「Yeti」では、10月に屋外スキー場として25年連続で日本一早くオープンし、話題喚起に努めたほか、SDGsの一環として、富士急ハイランドのジェットコースターの廃レールや車両を再利用したスノーボード専用エリア「FUJIYAMA アイテムパーク」を設置するなど、新たな魅力の向上に努めました。

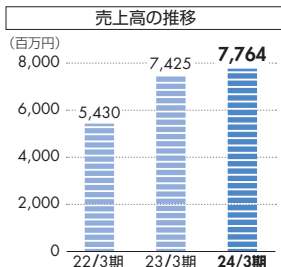
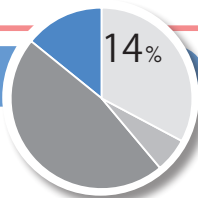


ZOKKON

ホテル事業につきましては、「ハイランドリゾート ホテル&スパ」において、外国人宿泊者の増加や宴会・婚礼需要の回復により好調に推移しました。また、ホテル内の土産物店において、AI技術を活用した決済システムを導入し、24時間営業の無人店舗化することで、利便性向上と業務効率化に努めました。7月に開業60周年を迎えた「ホテルマウント富士」では、記念宿泊プランや記念商品販売などのアニバーサリーイベントを実施し、話題の喚起に努めました。

以上の結果、レジャー・サービス事業の営業収益は24,909,266千円（対前期113.8%）、営業利益は3,137,186千円（対前期144.4%）となりました。

その他事業



富士ミネラルウォーター

株式会社レゾナント・システムズでは、2022年度に販売を開始した幼児の車内置き去り防止をサポートするシステム「かくにん君」の販売が引き続き好調に推移しました。株式会社富士急百貨店では、富士吉田富士急ターミナルビル「Q-STAY」において、各種催事の開催や地域文化交流の場の提供による近隣住民の利用増や、屋上展望デッキからの富士山眺望を目的とした外国人観光客が多く訪れ、来館者数が大幅に増加しました。富士ミネラルウォーター株式会社では、5月の「G7広島サミット」でも採用された紙パック製品の需要が高まり、飲食店やホテルのほか、ECサイトでの取扱いが増加しました。

以上の結果、その他事業全体の営業収益は7,764,404千円（対前期104.6%）、営業利益は664,861千円（対前期257.1%）となりました。

連結財務諸表



連結貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科目	期別	当連結会計年度 (2024年3月31日現在)	前連結会計年度 (2023年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		34,038	34,693
固定資産		66,476	66,025
繰延資産		22	27
資産合計		100,537	100,746
(負債の部)			
負債合計		68,186	73,962
(純資産の部)			
純資産合計		32,351	26,784
負債純資産合計		100,537	100,746

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

単位：百万円

科目	期別	当連結会計年度 (2023年4月1日から 2024年3月31日まで)	前連結会計年度 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		12,998	8,974
投資活動によるキャッシュ・フロー		△5,703	△4,826
財務活動によるキャッシュ・フロー		△8,440	△2,206
現金及び現金同等物の増減額		△1,145	1,942
現金及び現金同等物の期首残高		18,985	17,043
現金及び現金同等物の期末残高		17,840	18,985

連結損益計算書 (要旨)

単位：百万円

科目	期別	当連結会計年度 (2023年4月1日から 2024年3月31日まで)	前連結会計年度 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)
営業収益		50,701	42,924
営業費		42,549	38,681
営業利益		8,151	4,243
営業外収益		281	293
営業外費用		496	529
経常利益		7,936	4,007
特別利益		671	566
特別損失		2,007	910
税金等調整前当期純利益		6,600	3,662
法人税、住民税及び事業税		1,892	769
法人税等調整額		21	514
当期純利益		4,686	2,378
非支配株主に帰属する当期純利益		114	59
親会社株主に帰属する当期純利益		4,571	2,318

会社概況／株式情報

会社概要 (2024年3月31日現在)

- 商号 富士急行株式会社
FUJI KYUKO CO.,LTD.
- 所在地 本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号
- 設立 大正15 (1926) 年9月18日
- 資本金 91億2,634万円
- 代表者 代表取締役社長 堀内 光一郎
- 主要事業 鉄道事業、自動車運送事業、土地建物の売買・貸借・媒介その他各種不動産事業、旅館業・遊園地その他各種観光事業等

役員 (2024年3月31日現在)

代表取締役社長	堀内 光一郎	常勤監査役	廣瀬 昌訓
常務取締役常務執行役員	野田 博喜	常勤監査役	相川 三七男
取締役	佐藤 美樹	監査役	数原 英一郎
取締役	長岡 勤	監査役	関 光良
取締役	大原 慶子	執行役員	上原 厚
取締役	清水 博	執行役員	道本 晃一
取締役	米山 好映	執行役員	齊藤 隆憲
取締役	伊岐 典子	執行役員	岩田 大昌
取締役執行役員	鈴木 薫	理事	信國 謙司
取締役執行役員	山田 美之	執行役員	堀内 基光
取締役執行役員	天野 克宏	執行役員	相生 光晴
取締役執行役員	雨宮 正雄	執行役員	松村 武明
		執行役員	渡辺 広幸

株式の状況 (2024年3月31日現在)

■ 発行可能株式総数	165,847,500 株
■ 発行済株式の総数	54,884,738 株
■ 株主数	13,095 名

株主メモ (2024年3月31日現在)

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel.0120-232-711 (通話料無料) 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行う ※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待のご案内



電車・バス・観光施設 共通優待券



- 電車全線乗車 (1枚につき片道1名乗車)
- バス全線乗車 (1枚につき片道1名乗車)
- 富士急ハイランド
(2枚につき乗物1回またはスノーシュー券1枚、5枚につきフリーパス1枚と引換)
- ゆうえんちぐりんぱ
(1枚につき1名入園、5枚につきワンデークーポン1枚と引換)
- さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト
(1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換)
- 忍野 しのびの里 (2枚につき1名入園)
- スノーパーク イエティ
(5枚につき1日入場滑走券1枚と引換)
- あだたら高原リゾート
(5枚につきフリーパス1枚またはロープウェイ往復券1枚と引換)
- 初島航路
(3枚につき1名乗船(往復)とPCA初島(アジアンガーデンR-Asia) 1名入園)
※往路は引換当日のみ有効
- ～河口湖～ 富士山パノラマロープウェイ
(1枚につき1名乗車(往復))
- 河口湖遊覧船・山中遊覧船・本栖湖遊覧船・芦ノ湖遊覧船
(1枚につき1名乗船)
- フジヤマミュージアム (1枚につき1名入館)
- ふじやま温泉
(2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館)
- さがみ湖温泉うるり
(2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館)
- あだたら山 奥岳の湯 (1枚につき1名入館)
- 十国峠ケーブルカー (1枚につき1名乗車(往復))

フリーパス引換券



- 遊園地一日フリーパス
(富士急ハイランド・ゆうえんちぐりんぱ・さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト)
- スキー場一日券
(スノーパーク イエティ・あだたら高原スキー場)

高速バス乗車券



高速バス乗車券

※高速バスご利用について
高速バス乗車券は、「富士五湖～新宿線」「富士山五合目～新宿線」「甲府～新宿線」「富士五湖～東京線」「沼津～新宿・渋谷線」の富士急便に限りご利用いただけます。

電車・バス全線 優待パス



電車・バス全線優待パス
(持参人1名)

ご優待の内容

枚数

17,500 株以上

40 枚

6 枚

4 枚

1 枚

10,000 株以上

40 枚

5 枚

4 枚

5,000 株以上

25 枚

4 枚

2 枚

2,500 株以上

15 枚

3 枚

1 枚

1,500 株以上

10 枚

2 枚

500 株以上

10 枚

1 枚

100 株以上

5 枚

長期保有特別優待券*



「ハイランドリゾート ホテル&スパ」
「ホテルマウント富士」の指定する
ツインルーム室料100%または
ホテル内レストラン利用料30%
割引券
(3年に1度の発行となります。)

3枚

2枚

2枚

施設割引券

ご優待の内容		枚数
ハイランドリゾート ホテル&スパ	1枚につき1室室料20% または自社企画宿泊商品 10%割引 (キャラクター ルームは除く)	3枚
ホテルマウント富士		
富士山ステーション ホテル 富士宮富士急ホテル キャビン&ラウンジ ハイランドステーション イン	1枚につき1室室料20% 割引	2枚
富士急グループホテル 飲食割引券	レストラン・バー10%割引 (1枚につき4名まで) [ホテルマウント富士]では、 食事付入浴10%割引 (1枚につき4名まで)と して利用可	5枚
富士ゴルフコース	特別プラン【キャディ・ 昼食付】 1名様につき1,000円割引 (4名まで)	1枚
大富士ゴルフクラブ	平日：メンバー料金 土休日・特定日：10,000円 (1枚につき4名まで)	
ふじやま温泉	入館料 平日大人1,000円 小人500円 土休日 大人1,300円 小人650円 (1枚につき4名まで)	
さがみ湖温泉 うるり	所定料金より150円割引 (1枚につき4名まで)	
あだたら山 奥岳の湯	入館料 平日、土休日とも 100円引 (1枚につき4名まで)	
忍野 しのびの里	食事処「雪月風花」5%割引 (1枚につき4名まで)	2枚
PICA山中湖	素泊まりプラン1泊1棟 10%割引、 レストラン【FUJIYAMA KITCHEN】5%割引	
PICA富士吉田・PICA富士 西湖・PICA富士ぐりん ば・PICAさがみ湖・PICA 表富士・PICA Fujiyama・ PICAハケ岳明野・PICA初 島・PICA秩父	1枚につき素泊まりプラン 1泊1棟10%割引	
富士ミネラルウォーター	1枚につき20%割引 (1ケース以上)	1枚
富士急トラベル	パッケージ旅行代金の3% 割引 (1枚につき4名まで)	2枚
富士急オートサービス	車検・点検・整備 工賃 10%割引	1枚

● 株主優待券の発行時期及び有効期間

当社の株主優待は毎年3月31日及び9月30日現在で100株以上
ご所有の、株主様のご所有株式数に応じてそれぞれ5月下旬、
11月下旬に発行いたします。

	発行時期	有効期間
3月31日現在の株主様	5月末	11月30日まで
9月30日現在の株主様	11月末	翌年5月31日まで

注) 長期保有特別優待券の有効期間に限り、「1年間」といたします。

● 長期保有特別優待券について*

■ 長期保有特別優待券は過去3年間(7回)すべての基準日(3
月31日、9月30日)の株主名簿において、対象となる株式数
以上(※)を継続して保有し、かつ株主番号が継続して同一
である株主様に対し、過去3年間の基準日に保有していた最
小株式数に応じて3年経過ごとに発行しております。**(3年に1
度の発行となります。)**

相続による名義人の変更があった場合、また、継続保有され
ている株主様であっても基準日現在において、何らかの理由
で同一の株主名簿上に対象株式数を保有していない場合は対
象となりませんのでご注意ください。

■ 長期保有特別優待券は年末年始、ゴールデンウィーク、夏期
ハイシーズン等ホテルが定めた日のご宿泊にはご利用いた
だけません。またレストラン利用料の割引額の上限は3万円と
いたします。

その他、ご利用方法については優待券の裏面をご覧ください。



富士急行株式会社

本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号

<https://www.fujikyū.co.jp/>



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。